

## いなむら市長の「い〜なこの街 尼崎」 11月

テーマ：「産業」について

DJ(林)

さて、今回は「産業」をテーマに、お話しをお聞きしたいと思います。

工業都市として発展してきた尼崎には、独自の技術や製品を持った企業がたくさんありますよね。

市長

はい、尼崎は、古くから陸・海・空の交通の便が優れていることなどから、多くの企業が集まり、工業都市として発展してきました。

本当に素晴らしい技術や製品をもった企業がたくさんあります。業界のシェアを半分以上占めていらっしゃる場所も、いくつもあるんですよ。

DJ(林)

そうですね。市長は、いろいろな所へ行かれてお仕事をなさっていますが、やはり、こういった企業にも行かれることはあるんですか？

市長

はい、市内の企業さんが持つ強みなどを知っておきたいという風に私も思っていて、企業の皆さんにお願いをして、訪問させていただいています。

DJ(林)

これまでに、どのような所へ行かれましたか？

市長

はい、これまで、3カ所の企業を訪問させていただきました。

まずは今年の6月、JR 尼崎駅の北西部にある「音羽電気工業株式会社」の雷テクノロジーセンターを訪問させていただきました。

音羽電気工業は、雷から電気機器を保護する、そんな製品を作っているらしいです。私が訪問させていただいた雷テクノロジーセンターでは、日本最大の「大電流試験設備」や、雷の電圧を再現する「高電圧試験設備」などがあって、いろいろな実験をしながら製品づくりをされていました。

DJ(林)

そうですね。何度も実験を重ねながら、優れた製品をつくられているんですね。

では、次は、どこへ行かれましたか？

市長

9月には、臨海部にある「住友金属工業株式会社」の「鋼管カンパニー特殊管事務所」を訪問させていただきました。

住友金属工業は、主にエネルギー産業向けのステンレス鋼管を製造していらっしゃいます。例えば、火力発電用の、あるボイラチューブでは、世界シェアのおよそ8割を占めているそうです。

DJ(林)

世界シェアの8割とは、それはまたすごいですね。世界をリードする確かな技術が尼崎にもあるんですね。

それから、3カ所目は、どこへ行かれましたか？

市長

はい、先月、これも臨海部にあります「株式会社クボタ」の阪神工場を訪問させていただきました。

こちらは、国内で初めて水道用の鋳鉄管の量産に成功された会社で、私が訪問させていただいた阪神工場は、鋳鉄管の専門工場として昭和15年に設立された工場なんです。

DJ(林)

なるほど、さすがものづくりの街ですね。

今お聞きしただけでも、いろいろな技術や製品を持った企業がありますよね。

そういえば、6月の環境月間のお話しいただきました、環境に配慮した製品を表彰する「あまがさきエコプロダクツグランプリ」の表彰式が先月(10月)行われたそうですね。

市長

はい、ものづくりの技術を活かして、市内で製造される環境への負荷が少ない製品を審査し、先月(10月)の19日に、グランプリ、準グランプリ、特別賞の3つの賞を市長室で表彰させていただきました。

DJ(林)

そうですね。どのような企業の製品が、受賞されたんですか。

市長

はい、まず、グランプリを受賞されたのは、「新興化学工業株式会社」の「太陽電池向け高純度金属セレン材料」。これは、主な使い道が、太陽電池というエコな製品の材料であることなどを評価させていただきました。

そして準グランプリを受賞されたのは、「ダイソー株式会社」の製品で、低燃費タイヤ添加剤の「C A B R U S」です。これは、低燃費タイヤの性能を高める製品で、エコドライブの推進に貢献されているものです。

最後の特別賞を受賞されたのは、「関西化学機械製作株式会社」の「ウォールウェッター」。これは、簡単なシステムで高い蒸発効果を産み出すことができるもので、世界20カ国で特許を取得されているものなんだそうです。

DJ(林)

そうですね。どれもすごそうな製品ですね。

**市長**

はい、これらの製品は、10月20日・21日に開催された「あまがさき産業フェア2011」の特別ブースで、製品の紹介と展示が行われました。

**DJ(林)**

そうですか、産業フェアで展示されていたんですね。産業フェアといえば、今回は、第1会場と第2会場の2つの会場で、行われたんですね？

**市長**

そうなんです。今年の産業フェアは、尼崎商工会議所の「創立100周年記念事業」と一緒に行いまして、メインとなる第1会場とは別に、商工会議所が記念事業を行う第2会場を設けて実施されました。

まず、第1会場にあたる中小企業センターでは、48の会社が自社の製品や技術などを紹介する「産業製品技術展示会」が行われました。

私も会場内をまわらせていただきましたが、どこの企業の製品も本当に興味深くて、こういった高い技術や製品が、私たちの住む尼崎を支えてくださっているんだと、改めて実感しました。本当にとってもおもしろかったです。

**DJ(林)**

そうですか。では、第2会場では、どのようなことが行われていたんですか？

**市長**

はい、第2会場にあたる都ホテルニューアルカイクでは、3階鳳凰の間での屋内ブースとアルカイク広場での屋外ブースとに分かれていて、屋内ブースではトップシェア企業などによる展示が、また屋外ブースでは東北応援物産展などが行われていました。

**DJ(林)**

そうですか。

**市長**

開催初日の10月20日の午前11時から、この屋外ブースで、中古のガソリン車を改造した電気自動車の発表セレモニーが行われ、その後、展示会や試乗会なども行われました。

**DJ(林)**

電気自動車の発表セレモニーですか？

**市長**

はい、私も参加させていただいたんですけども、この電気自動車は、昨年11月、「尼崎商工会議所」、「尼崎経営者協会」、「協同組合尼崎工業会」、「財団法人尼崎地域・産業活性化機構」、「尼崎信用金

庫」といった5団体と、尼崎市で「ECO 未来都市・尼崎」宣言を行いまして、その宣言の一環として開発されたものなんです。

DJ(林)

そうなんですか。

市長

はい。この電気自動車は2人乗りの車で、私もドライバーの横に乗せていただいて、試乗をさせていただいたんですけども、本当に静かで、す〜っと動いていくような、すごい乗り心地が良かったです。

市に寄贈していただきましたので、市のイベントなどで環境の啓発に使わせていただきたいと思います。

DJ(林)

楽しみですね。尼崎には、本当に高い技術を持った企業がたくさんいらっしゃいますものね。

市長

はい。ただ、尼崎の高いものづくりの技術はこれだけではありません。デザイン性に優れた製品もたくさんあります。

外観や機能性、安全性など、幅広い視点でデザイン性に優れた製品を表彰する「尼崎ものづくりグッドデザイン賞」というのも行っています。

DJ(林)

そういえば、ちょうど去年の今頃に行われていましたよね。

市長

はい、これは昨年からはまったもので、昨年は「ゼロ精工株式会社」の「溜息3秒」というボールペンとペンスタンドが大賞に選ばれました。

ペンスタンドの中にペンを入れるとゆっくりと沈み込んでいく癒しの一品。ゼロ精工さんの、ものづくりの技術が活かされたボールペンになっています。

DJ(林)

はい、グッドデザイン賞の大賞にふさわしい、おもしろい製品ですね。

今年も、大賞は決定したのでしょうか。

市長

ただいま審査中で、11月下旬に表彰をさせていただく予定です。

受賞製品が決定しましたら、市のホームページや市報あまがさきなどでお知らせさせていただく予定ですので、皆さんどうぞ、楽しみにしててくださいね。

DJ(林)

はい。

市長

先ほどのゼロ精工さんも、今はこのステーションナリーの部門を、ゼロラボという独立した企業としてさらに、これからまた展開をしていこうとされていまして、またそういったことを、どんどん後押ししていくような事業になればなと思っております。

DJ(林)

そうですね。

市長

企業の皆さんには、これからもそういった高い技術をもっと高めて、より素晴らしい製品を開発していただき、今後とも、尼崎の産業を支えていただきたいと心から思います。どうぞ、よろしく願います。

DJ(林)

企業の皆様には、ますます活躍していただきたいですね。

それでは、稲村市長、本日もありがとうございました。

市長

はい、ありがとうございました。